

令和7年度なかまの家地域連携推進会議会議録

日時：令和7年11月6日（木）10：00～12：00

場所：なかまの家会議室

参加者：地域連携推進員（入所者代表（女性寮）、保護者代表（男性寮）、地区総代、民生委員、
行政関係者、福祉に知見のある者）
事務局（なかまの家施設長、班長） 計8名

■地域連携推進会議の概要について（施設長）

- ・4つの目的（①利用者と地域との関係作り、②サービスの透明性、質の確保、③地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進、④利用者の権利擁護）を達成するために、施設による会議の開催と構成員による施設訪問を行う事を説明しました。
- ・任期は基本的に1年間をお願いしたいと考えていますが、次年度は入所者代表は男性寮から、保護者代表は女性寮から選出させていただこうと考えています。また民生委員さん等につきましては継続的にお願いしたいと考えており、次年度お声がけさせて頂く場合がある旨をお伝えしました。

■昨年度地域連携推進会議後の対応について

昨年度頂いたご意見についての対応を下記により説明させていただきました。

昨年度ご意見を頂いた事項	対 応
消防団との連携	・昨年度2月消防団来園。降雪状況と避難経路の確認を行った。 今年度も駆けつけ訓練など連携していく。
記録入力が休んでいると思われる	・会議後、記録入力も「仕事」の一つとして考えるよう、部署の会議で周知を図った。
浴槽のお湯のぬるさ	・給湯ボイラーがお湯の温度変化が無いことからエラーが付き動かなくなったことがわかり、対策としてホースを設置してエラーにならないよう工夫した。以後温かいお湯で入浴を提供する事ができた。
施錠について	・離設などの関係で玄関等の施錠解除は現状としては難しく、ただし施錠によって不便な生活を余儀なくされている入居者は一定数いるため、可能な限り外部事業所へ通う取り組みを行った。
職員からせかされる	・会議終了後、部署の会議で取り上げ職員から意見を聞いた。 トイレや居室から食堂への動線が長く、移動に時間がかかっている事から、当事者であるご本人の支援方法について検討し対応方法を変更した。それによりせかす等の声のげは聞かれなくなった。ただしこの件については、いつでも誰に対しても起こり得ることとして捉え引き続き職員の質向上に努めていく事とした。
広報誌への掲載	・法人本部や内部で協議を行った結果、令和6年度中は見送らせて頂いた。

■令和7年度なかまの家上半期の状況について（4月1日～9月30日）

事業報告書を元に説明させていただきました。（施設長、班長）

- 定員40名のところ現在満床となっています。
19歳から80代の幅広い年齢層の方々が生活しており、平均年齢は約52歳となっています。
- 退所が1名おり特別養護老人ホームへ入所されました。9月に2名の方がそれぞれ病院から入所されています。
- 事故は13件ありました。内容について個別に説明を加えてさせていただきました。
- 車両事故はありませんでした。
- 権利擁護の関係では職員に向け業務の振り返りアンケートを実施し、質向上の取り組みを行いました。
- 苦情はありませんでした。ただし保護者説明会等でどのような事でもご意見を頂きたい旨をお伝えしていると説明させていただきました。
- 身体拘束について、上半期は0件でした。昨年度上半期は3件ありましたが、いずれも新型コロナウイルスのクラスター発生の為で、今年度については感染症の発生が無かったことが大きな要因となりました。
- ボランティアの受入れについて、掃除やイベントへの協力として4回13名の協力を頂きました。
- 会議及び委員会については37回実施しました。これ以外にも入居者にとって必要な事を検討する様々な会議を開催しています。
- 研修は計5件延べ108名の職員がオンライン研修を受講しました。感染症予防や事故防止、権利擁護など、運営に必要な内容を中心に行いました。
- 防災訓練については3回実施しました。消防計画に基づき必須とされる訓練を行っています。
- 実習生については2名の受入れを行いました。社会福祉士や保育士資格のための実習となります。
- 職員配置については32名で運営していますが、昨年度から2名減となり、工夫しながら対応しています。

■訪問の結果について

訪問者	訪問日時
保護者代表	令和7年10月15日14:30～15:30
福祉に知見のある者	令和7年10月17日16:00～17:00
地区総代	令和7年10月24日13:30～15:30
民生委員	令和7年10月24日13:30～15:30
行政関係者	令和7年10月24日14:00～15:30
入居者代表	令和7年10月25日15:30～16:30

- 地域連携推進員よりなかまの家を訪問頂き、その結果についてご意見を頂きました。
- 何十年とお世話になっていますが、なかまの家を隅から隅まで見させて頂いたのは初めてでした。
女性寮は静かな環境でした。
なかご寮（男性寮）のトイレの臭いが気になりました。便器の形状や暗さなども気になったので、ぜひ新しいなかまの家では参考にして頂きたいです。

- ごみが無くて良かったです。
壊れている所は特にありませんでした。
(行動に対して) 大目に見て欲しいです。
- 男性寮が静かになり落ち着いている印象を受けました。自閉症 e サービスで学ばれた結果なのかなと思います。高齢の方が多くなっている印象で仮に特養など次の行き先があれば自閉症や精神の方のニーズが高くなっているのでは、(受入れについて) お願いしたいと思いました。
- 以前から地域とのお付き合いをさせて頂いております。今年も神輿を担いでなかまの家まで来て一緒に交流を深める事ができました。以前の職種から大きな施設を見る機会があったのですが、なかまの家は非常に穏やかに過ごしている印象で、その点は他の施設に引けを取らない場所だと思いました。
- 男性寮については、お話ができない方が多くやや殺風景な印象でした。一方女性寮は家庭的な雰囲気でした。話しかけてきてくれた方が「わっかふえ(十日町福祉会が運営している就労支援事業 B 型事業の喫茶店)に行くのが楽しみ。」と話していました。
- 現在立地が山の上で、これも良い環境かと思いますが今後は街の中に行く事になるわけですが、地元との関係が作れると良い生活になるのではないかな？来てもらえる施設になってもらえたらと思います。
- カラオケが大好きと話しかけてくれました。カラオケができる環境があれば、良い生活になるのではないかなと思いました。また職員不足によって外出が困難となったり、トイレ介助が大変になっているとの話もありました。ぜひ職員採用を進めていただければと思います。
- (訪問時に入居者を対象とした犬とのふれあい行事を行っており) 継続的に楽しめる取り組みをこれからもやって欲しいと思います。職員はよくやっています。本当に頭が下がります。
- 玄関など施設についてはやむを得ない部分もある事がわかりました。家族がこれで良いと思えばそれに沿った形でお願いします。
- なかまの家広報について昨年度も発行を希望していたが、もう一度発行できないか考えて頂きたい。元町、上野地区の他に移転先である高原田地区に回覧板で年 1 回でも良いので出して頂きたい。ホームページを見る事ができない方が多くなかまの家の事をわからない方も多くいるため、重ねてお願いしたい。

(施設からの回答)

- まずは推進員の皆様から貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。
- なかまの家を隅々まで見たのは初めてとのお話を頂きました。情報提供が不足していた事を気付かせて頂きました。今後施設見学の機会を作るなど検討させていただきます。
- 男性寮のトイレの臭いや室内の暗さについて、ご意見を頂きました。扉を閉め臭いが生活スペースに漏れないよう工夫するなど、内部で協議させていただきます。
- 神輿の際は下から 700m 以上ある坂道を登ってなかまの家まで来て下さり本当にありがとうございました。入居者の皆さんも楽しい思い出を作ることが出来ました。数年後に移転新築を控えていますが、地域とのつながりを大切にしていきたいと思います。
- 大目に見てほしいとご意見を頂きました。どのような内容なのかわかり兼ねますが、伝え方について工夫したいと思います。

- ・気軽にカラオケができる環境とのご意見を頂きました。以前自由にマイクなどの機材を使用していたところ、マイクの取り扱いなどのトラブルがあり現在の形となっています。しかしながらカラオケという楽しみが持てるよう今後の環境について検討させていただきます。
- ・職員の不足については鋭意募集している所ですがなかなか難しい実情があります。専門学校等への働きかけや高齢事業では外国人の雇用など様々な取り組みを行っています。もしお知り合いで興味のある方がいらっしゃればぜひ紹介をお願いできたらと思います。
- ・行事について、引き続き入居者の方々が楽しんで頂けるよう企画していきます。お褒めの言葉を頂きありがとうございました。
- ・施設については、これで終了ではなく、引き続き入居者にとって過ごしやすい自由な環境を模索していきたいと考えています。
- ・広報誌の発行について、十日町福祉会全体の広報誌の回覧はありますが、なかまの家の詳細についての内容ではないため、わからない方もいらっしゃると思います。昨年度内部で検討した際には、ホームページの掲載で十分ではないかといった意見が聞かれていました。改めて今回の地域連携推進会議でご意見を頂きましたので、年1回のなかまの家広報誌の回覧を実現できるよう取り組んでいきます。

■その他

なかまの家移転新築計画について（施設長）

- ・場所：市内高原田地区の川西診療所の跡地を予定しています。
- ・規模：現在40名の定員ですが、国の施策もあり38名の定員を検討しています。
- ・建築：大地の芸術祭の関連で知り合った、建築家の「安部良先生」にお願いしました。
ただ建てるだけでなく、今後10年は見ますと話されています。
- ・図面：内部協議等を重ね、図面等概ね仕上がって来ました。11月22日に移転新築に関する保護者説明会を予定しており、その際に発表したいと考えています。
- ・開設予定日：令和10年4月を予定しており、移転まで後2年半となります。

■閉会

- ・今回様々なご指摘、助言を頂戴しました。
なかまの家がより良いものになるよう頂いたご意見に対して取り組みを進めていきます。
本日はありがとうございました。